

# 誓う愛バラが見守る

村山市、東沢

公園を「恋人の聖地」申請へ

村山市は国内屈指の規模を誇り、約7万株のバラが咲く東沢バラ公園をNPO法人が選定する「恋人の聖地」に登録申請する。若者の来場者を増やすのが狙いで、プロポーズにふさわしい場所として聖地化し、交流人口の拡大につなげる。

恋人の聖地は、NPO法人地域活性化支援センター（静岡県）が2006年に始めたプロジェクト。ファッションデザイナーの桂由美さんらが委員となり、全国の「ロマンチックな観光施設や地域」を選定する。

全国に131カ所あり、東北は仙台市の作並温泉郷、上山市の花咲山展望台、

## 若者誘客 ロマンチックに

かまくらで有名な横手市など11カ所が選ばれている。

東沢バラ公園は、約7万平方メートルの広大な敷地に約750品種を栽培。毎年春と秋に「バラまつり」を開催し、約7万人が訪れる。環境省の「かおり風景100選」にも選ばれた村山市を代表する観光スポットだ。



「恋人の聖地」に登録申請する村山市の東沢バラ公園  
＝2014年6月

は公園中央にある幸せの鐘「ローズベル」に選定証のプレートを設置する方針。

来場記念の鍵も作り、ここで愛を誓った証として、来場したカップルが鍵を飾れる場所を設ける。

市によると、バラ公園の有料来場者のうち20～30代は1割にとどまる。聖地への登録をきっかけに、バラ

公園と市内の観光施設を連携させ「ゆくゆくは市全域を恋人の聖地にしたい」（商工観光課）という。

プロジェクトは、観光庁や大手旅行会社が後援に名前を連ねる。「全国の聖地巡り」などの旅行商品企画に、参加できる可能性もあり、聖地化のPR効果や観光客の増加に期待を寄せる。